

アフリカビジネス協議会の活動について

令和2年9月

アフリカビジネス協議会 事務局

1. アフリカビジネス協議会について

- 2019年6月、TICAD7に先立ち、日本政府と民間セクターにより設立され、日本とアフリカ連合加盟国との間におけるビジネス交流を奨励し促進するための**常設**の協議体
- 現在、中小企業やスタートアップを含む民間企業に加え、省庁・政府関係機関、国際機関など、**官民約300団体**が所属
- 変化する現地経済情勢や現地ネットワーク構築の困難さに加え、未成熟な制度に代表されるビジネス環境といった一企業の努力では解決できないハードルを乗り越えて、アフリカへ進出する日本企業を支援すべく、
『日本とアフリカ』×『官と民』の4者が**連携し行動するプラットフォーム**
- 協議会設置における官民連携については、以下を念頭

① 日本国内での官民連携

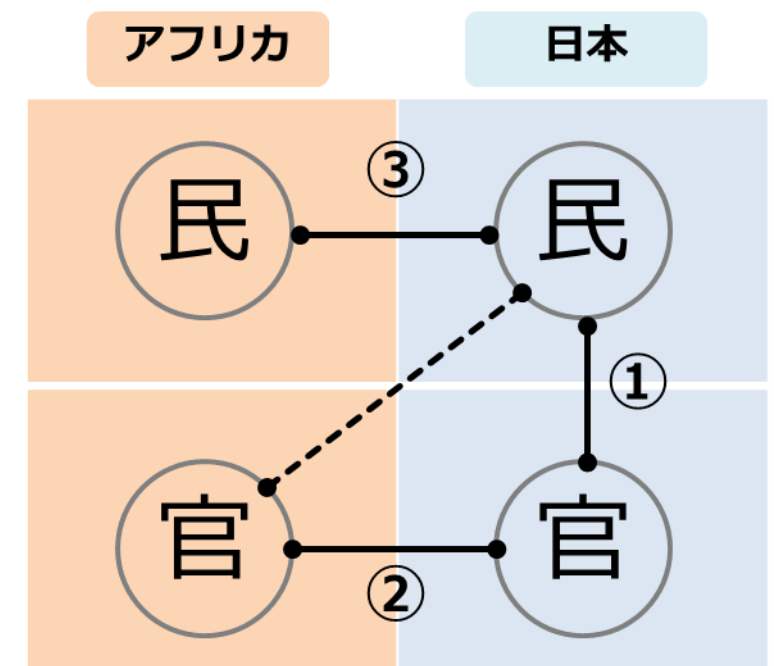
スタートアップや中小企業などの進出実例・成功の声の創出を図りながら、更なる進出企業数を増やすべく、**具体論で議論して成果志向の新段階の官民連携**を図る

② 日本とアフリカの政府間連携

従来、TICADの主軸であり、かかる政府間連携を活用したビジネス展開を検討

③ 日本とアフリカの民間間連携（①と②を有効活用）

第三国を通じた連携実績に加え、**より多様な連携を追求**（投資窓口となる民間経済団体がある国との連携）



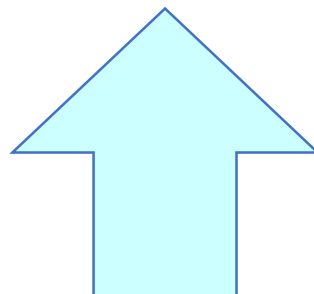
1. アフリカビジネス協議会について（続き）

【体制】

会員：民間企業、経済産業省、外務省、関係省庁・政府関係機関

本会議

共同議長：
（官側）経産大臣、外務大臣、
（民側）経団連サブサハラ地域委員長
経済同友会アフリカ開発支援戦略PT委員長



取組報告、提言進捗報告

ワーキング・グループ

参加者：官民の実務レベル
（テーマ毎に会員企業、関係省庁等が参加）

中堅中小
企業
WG

投資環境
改善
WG

ヘルス
ケア
WG

農業
WG

インフラ
WG

2. 協議会が果たす役割

■ 協議会メンバー企業の意見も踏まえて、**下記4つの役割・機能を重点的に立ち上げ**

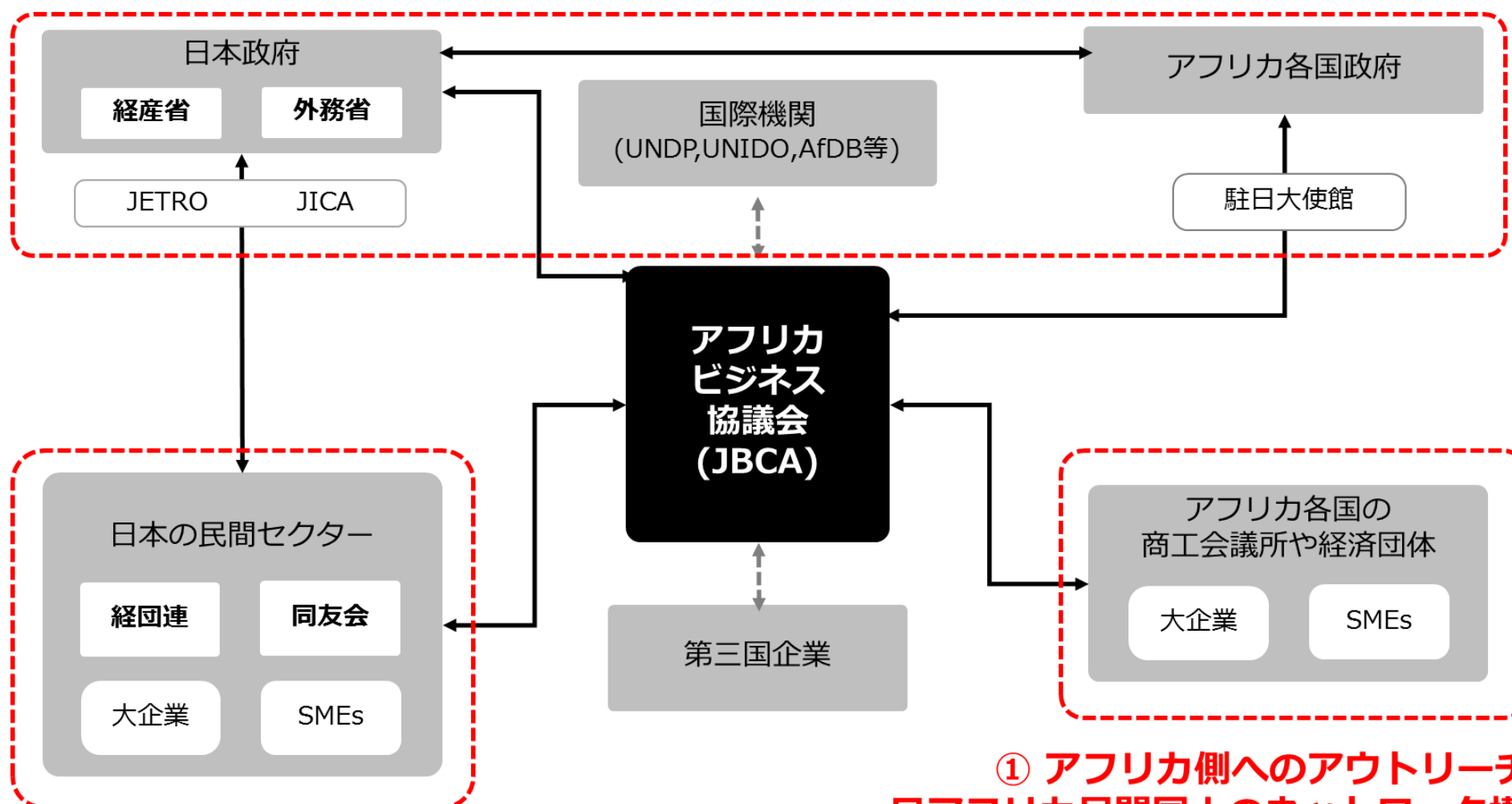
① アフリカ側へのアウトリーチ、日アフリカ民間ネットワーク構築支援

② ワンストップでの情報提供、会員間ネットワーキング

③ 個別WGの進捗管理：TICADに向けた具体的成果の形成、ビジネス環境のロビイング

④ TICADに向けた民間からの政策提言の取り纏め

③個別WGの進捗管理：TICADに向けた具体的成果の形成、ビジネス環境のロビイング



① アフリカ側へのアウトリーチ、日アフリカ民間同士のネットワーク構築を支援

② ワンストップでの情報提供、会員間ネットワーキング

- 協議会発足当初の事務局メンバーである外務省/経産省、JICA/JETRO、経団連/経済同友会の6者と、企業からの有志担当者を中心に、これらの機能を実装するための運営事務局の在り方（官民の役割、必要な工数の洗い出しなど）について議論中

3. 直近の協議会活動について

- コロナ渦の影響もありますが、TICAD 7からの動きを止めず、できる事から行動

① アフリカ側へのアウトリーチ、日アフリカ民間同士のネットワーク構築支援

- 1) 今年1月、ナイロビにてKenya-Japan Business Networking Forumを開催
- 2) 同国最大の経済団体であるケニア製造業協会(KAM)を共催者として巻き込み、実際に、ケニアの民間企業経営者と接することで、同国のビジネスレベル、ポテンシャルを体感
- 3) 当日は、ケニアにおける産業資機材等、BtoBビジネスチャンスの顕在化に焦点を当て、**両国企業から合わせて約150名が参加**



- 本イベントの成果を実ビジネスに結び付けるために、KAMと**「Withコロナの前提で、どんなフォローが実施できるか？」**検討中
- 並行して、他国でも同じアプローチができるよう、各国の経済団体の情報整理を開始



現地での会見の様子



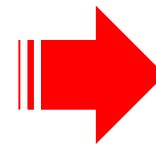
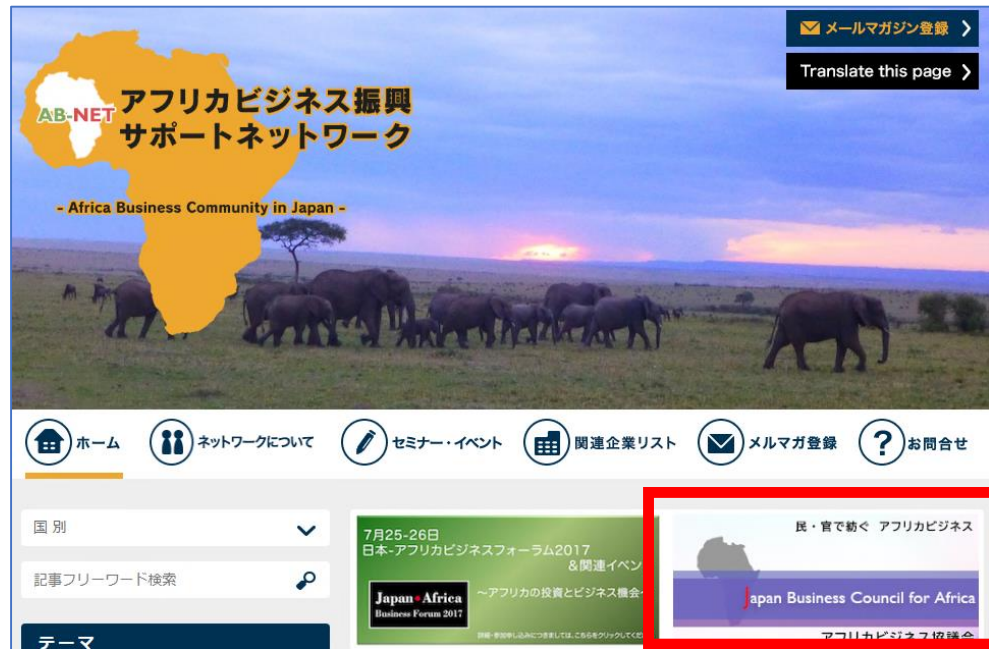
ネットワーキングの様子

- 1) イベント終了後のアンケートでは、日本からの参加29社から回答が得られ、**「今後同様のイベントがあったら参加したい」という企業は100%**
- 2) イベントの結果概要は、経済産業省HPに掲載
https://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade/africa/Kenya_Japan_Forum.pdf

3. 直近の協議会活動について（続き）

② ワンストップでの情報提供

- 1) アフリカビジネス振興サポートネットワーク（AB-NET）上に**協議会ウェブサイト**を設置
URL : <https://ab-network.jp/jbca>



- 2) 現在、**ワンストップ窓口は、経産省アフリカ室が担当**。
会員の皆様からのご相談、お困り事を受け付け、省庁や政府関係機関との意思疎通や、協議会参加企業同士の交流・協業を担うべく、更なる検討を重ねていく
- 3) **定期的にウェビナーを開催**し、知識・知見の共有、コミュニケーションの場を提供
同時に、経産省の地域局、JETROの各県の拠点、等とも連携し、アフリカ進出を検討する全国の**中堅中小・スタートアップ企業の掘り起こし**を実施
 - JETRO : 月に1回のペースで、各種テーマに関するウェビナーを開催予定
 - JICA : UNDPと共催するAFRI Converse等、今後も定期的にウェビナーを開催予定

3. 当面の事務局の各機能について（続き）

③ 個別WGの進捗管理：TICADに向けた具体的成果の形成

- TICADに向け官民連携での企業進出事例の創出を目指す

＜具体的な動きのある民間事業のパイロット化＞
ビジネスモデル/プロジェクト（ショーケース化）としてアフリカ側に提示

＜現地進出企業同士での相互連携機会増加＞
更なる事業展開への好循環を構築

＜具体的な行動をコミットした国の優先的な巻き込み＞
ビジネス環境整備とセットで官民でプロジェクト推進

＜挑戦・参入する日本企業の増加＞

＜日本の参入事例の創出＞

＜個別WGの活動状況例＞

農業WG

小規模農家を対象にした農業デジタル化基盤構築のモデル事業を農水省補助にて開始。また、農業デジタル化基盤の他国への普及や農業機械を中心とした農業技術の導入促進についてJICA調査事業が開始。今後、アフリカ進出ビジョンを有する企業への支援等に加え、具体的なアクションプランを策定

ヘルスケアWG

アフリカ健康構想(内閣官房)に共鳴し、協業関係にある国を対象に、民間企業を交えたテーマ別分科会を設置予定。官民のチームでモデルケースを検討の上、現地ニーズとのマッチング調査を実施（1月に調査ミッションを派遣したケニア・ガーナでは、ヘルスケアビジネスセミナーを開催予定）

中堅・中小企業WG

前述のケニアで開催したネットワーキング・イベントのフォローアップについて、ケニア側と協議を進める。また、JETROウェビナー等を通じ、アフリカへ進出する中小・地方企業の掘り起こしを実施

3. 当面の事務局の各機能について（続き）

④ TICADに向けた民間からの政策提言の取り纏め

- 次回TICAD8で、官民が目指す(アフリカ側に提示したい)目標・成果の意識合わせに向けて、まずは、**TICAD7の民間提言書のフォローアップ**を進める

4. 今後の方向性

- 協議会として、新型コロナを背景に活動停滞となることなく、逆に**新型コロナがもたらした新たな状況下でのアフリカビジネス展開を進められるよう**、TICAD8をマイルストーンとし、その間に開催を検討している「日・アフリカ官民経済フォーラム」を連動させながら、今後も活動していく
- 今後の関連スケジュール(予定)
 - 10月：JETROウェブセミナー※（テーマ：(仮)企業から見たTICADへの期待）
※月に1回のペースで、各種テーマに関するウェビナーを開催予定
：(JICA)「中小企業・SDGsビジネス支援事業」公示に向けた情報提供の為の課題発信セミナー
 - 11月：JETRO-JICA-UNDP-UNIDO共催ビジネスウェブセミナー
 - 年内：(JICA)「COVID-19を受けた途上国における民間技術の活用可能に係る情報収集・確認調査」
調査結果報告公開セミナー

未だ協議会に参加されていない皆さまは、是非入会（無料）をご検討下さい。
協議会員の皆さまは関連資料にもアクセス可能です。
入会方法はウェブサイトでご案内しております。
URL：<https://ab-network.jp/jbca>